

IMONIKAI

いもにがい

発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
住所：〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センター内
Tel：06-6765-4041
Fax：06-6765-5618
協力 大阪市各区社会福祉協議会



一本一本に被災地名が書いてあった竹灯籠



1.17と3.11をつなぐ追悼式



阪神・淡路大震災から22年となる1月17日、各地で追悼式が行われました。神戸市勤労会館では「1.17 市民追悼のつどい」が開かれ、午前中の追悼式典の後、午後から「1.17と3.11をつなぐ会」が催されました。集まった両被災者が各々の被災・避難経験を語り、住宅打切りや、健康被害（1.17はアスベストによる中皮腫、3.11は放射線による甲状腺がん）など心配される共通点をあげながら、復興とは何かを考えました。



14時46分、3.11の文字をかたどった竹灯籠の周りに多くの人が集まり、黙祷をしました。

1.17の文字に竹灯籠が並べられた神戸市東遊園地。無料配布のろうそくに火を灯し、手を合す人々が絶えませんでした。

小さな靴店がひしめきあっていた神戸の商店街。震災で焼け落ちた跡地には、大規模靴センターができました。「新しい建物やきれいな道路ができることだけが復興ではない」と話す参加者。また、福島では畑仕事に精を出していた、と話す避難先で出会った隣人を思い出して「笑顔を見たことがない。何が復興かわからないけど、その人を思うと、もとの生活に戻れることが復興かもしれない」と、迷いながら話す人もいました。



自分一人で頑張らず、誰かに相談してみる

日頃、前向きにがんばっていても、ふとした時、絶望的な気分になることがあります。そんな時は…ホッとネットおおさか登録団体の日本産業カウンセラー協会、矢野敏昭さんのコラムです。

「困ったこと」「悩んでいること」を自分一人の心の中にため込まずに口に出してみたらどうでしょうか。あるいは誰かに相談してみたらどうでしょうか。声に出してみたり、他の人に相談したりしたことで心の中がちょっと軽くなったという経験はありませんか。心が軽くなれば、心の中に力が湧いてきて自分の力で何とかかなりそうだという気持ちになってきます。

日本産業カウンセラー協会 矢野 敏昭

編集後記 たくさんゆずをいただきました。見た目はよくないのですが、無農薬とのこと。きれいな皮を、薄くむいて冷凍に。軽く絞った果汁はゆず酢として保存し、種は25度の焼酎につけて化粧水代わりに。残りはゆず茶にしました。食べるのはちょっと、と思うものは、お風呂に放り込みました。湯上りのほかほかが続き、驚きました。ゆずは捨てる場所がありません。ビタミンもレモンより豊富だそうです。体の中から温かくなって、寒い冬を乗りきりましょう。(あかほし)

ご意見・情報をお寄せください。
☆本紙は毎月1日発行です。
情報掲載希望の方は、2か月前までにご連絡下さい。
問合せ申込み
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪市ボランティア・市民活動センター
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10
TEL: 06-6765-4041 / FAX: 06-6765-5618
Email: imonikai@osakacity-vnet.or.jp (担当: 赤星)
《利用時間》 月～金曜 9:30～20:30
土曜 9:30～17:00 (日曜・祝日及び年末年始休館)



避難者の皆さんから希望が多かった、越年の里帰りバスの運行を行いました。「第9回・東北～大阪交流バス」は、2016年12月29日～2017年1月3日に運行。避難者の皆さん26人、市民フォーラムおおさか、大阪市ボランティア・市民活動センターの職員を合わせて7人の参加でした。



子ども達は遊び 大人はゆっくり語り合う

バスは、12月29日午後8時30分に大阪市立社会福祉センターを出発。参加者全員が回ってくるマイクで自己紹介をした後、車内の後方ではテーブルを囲むサロン形式の座席で、子ども達とボランティアが、ゲームやパルーンアートで楽しみました。また里帰りバスでしか会えないという避難者同士や避難者とボランティアがゆっくり語り合う時間を過ごしました。

運行は実にスムーズに進み、30日午前5時、最初の降車地、まだ薄暗い東京駅に到着しました。その後、福島県いわき駅、郡山駅、最終の宮城県仙台駅に正午ごろ到着し、避難者の皆さんは、それぞれに帰宅の途に着きました。

配布いただいたチラシを見て、親子連れが三々五々に来所。凧作りでは、思い思いの絵を描いた後、竹と糸を使い、約50センチ四方の和凧作りに挑戦しました。同時に餅つきも行われ、近隣の住民の皆さんと楽しいひと時を過ごしました。



べったん、べったん杵と臼でつきました

善哉の控えめな甘さや、塩こぶを一口食べながらという関西の文化との違いにも話に花が咲きました。



凧の絵柄を熱心に描く親子

凧作りと餅つきで 地元の皆さんと交流

一方、ボランティアは、仙台から1時間半の移動。今回初めて石巻市蛇田地域での活動を行いました。会場は、2017年春にオープン予定のヘアエステサロン SAKURA をお借りしました。

大晦日と元日には、事前に

震災後、初の故郷での越年も

1月2日、午後2時30分に仙台を出発、各駅での乗車を経て、3日午前7時に帰阪しました。

参加者からは「震災後、実家で正月を迎えるのは初めてでしたが、お袋の手料理がおいしかったです。今回は私の妹が出産したので赤ちゃんに会いに行くことができました。『娘は友達に会えるのをずっと楽しみにしていました』などの声が寄せられました。

情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など

ご招待 プリューゲル、レンブラント、ルーベンス バロックの巨匠たち

16世紀末から18世紀初頭にかけて西洋で栄えたバロック美術に焦点をあて、名品44点を紹介する展覧会。ヨーロッパ全域で活躍した多彩な画家達による歴史画、肖像画、風俗画を通じて、華麗な色彩とドラマチックな明暗で万人を魅了するバロック絵画の魅力に迫ります。



会期：2月8日(水)～3月28日(火)
10:00～17:00 (入場は16:30まで)
休館日：月曜日、3月21日(火)
(ただし3月20日、27日は開館)
場所：姫路市立美術館 企画展示室
(JR「姫路」駅下車→神姫バス乗車 約6分、または 徒歩 約20分)
ご招待：3組6人(抽選)
締切：3月6日(月) 正午
※ 当選の場合は、3月8日頃に、チケットを発送します。

ご招待 クラナハ展 - 500年後の誘惑

ドイツ・ルネサンスを代表する画家、ルカス・クラナハは、特異なエロティシズムで女性を描く画家として知られています。宗教改革から500年、近代美術の巨匠達をも魅了したクラナハの全貌を、世界中から集められた作品約100点で紹介する日本初の大回顧展です。



ルカス・クラナハ(父)『正義の懲罰(ミスライトマン)』1537年 個人蔵

会期：1月28日(土)～4月16日(日)
10:00～17:00 (金曜日は19:00まで)
(入場は閉館30分前まで)
休館日：月曜日、3/20(月祝)は開館、翌日3/21(火)は休館
場所：国立国際美術館
(京阪電車・中之島線「渡辺橋」より 徒歩 約5分、
または JR 大阪環状線・阪神電車「福島」より 徒歩 約10分)
ご招待：3組6人(抽選)
締切：3月6日(月) 正午
※ 当選の場合は、3月8日頃に、チケットを発送します。

方言の交差点

—東北弁と大阪弁が出会う場所—

食べ物の塩の味が足りない場合、みなさんは何と言いますか？
共通語では「ウスイ」と言いますが、東北をはじめ中部、中国、四国、九州の一部の方言では「アマイ」「アマカ」と言うそうです。沖縄でも「アマサン」と言うことから、歴史的には「アマイ」系が、塩味の不足を表す表現として最も古いようです。
関西の方言では「ミズクサイ」と言います。これは江戸時代の大坂の方言をまとめた『浪花聞書』に掲載さ

「ミズクサイ」の意味



れており、「塩あまきことをいふ 江戸でいふ水ばいなり」と説明されています。たしかに現代の共通語でも、味が薄いことを「ミズっぽい」と言いますね。
ところで、共通語の「ミズクサイ」の意味は、よそよそしく他人行儀である様子を表します。実は、この意味も、江戸時代初期の大坂で使われていました。「ミズクサイ」の意味は、人間関係に関する方は共通語の意味として全国に広がり、味に関する方は関西の方言として定着したようです。

【方言募集】 ※どんな疑問・質問でも結構です。ぜひ、ご連絡ください。
住所：〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15 追手門学院大学
E-mail: yukushib@otemon.ac.jp
追手門学院大学国際教養学部講師 柳引祐希子

交流会

2月 Café IMONIKAI &

避難者ピアサポート交流会のご案内

Cafe IMONIKAI とピアサポート交流会の2部構成で開催している避難者交流会。午前中は自由な雰囲気でも何でもおしゃべりする時間です。また、避難当事者の気持ちに共感する支援者も一緒に過ごします。午後からは避難者だけで今の気持ちをじっくり聞きあいます。
途中参加、途中退室は自由。当日参加も大歓迎です。

日時：2月28日(火) 10:30～15:00
10:30～13:00 『Café IMONIKAI』 (同室保育)
13:00～15:00 『避難者ピアサポート交流会』(別室保育)
※ 昼食は各自でご用意ください。
場所：大阪市立社会福祉センター 3階
(地下鉄「谷町九丁目」駅または近鉄「大阪上本町」駅 11番出口)

保育予約締切：2月21日(火)
※子どもの名前、年齢、保育予定時間を添えて。
問合せ・申込み：peimonikai@gmail.com
※ 名前・連絡先、予定時間を添えて。

主催：ドーン避難者ピアサポートの会
(ジェンダー平等をめざす藤枝淳子基金助成事業)
協力：東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream
大阪市ボランティア・市民活動センター



関心が高かった12月交流会

12月の交流会は、「チェルノブイリへのかけはし」代表・野呂美加さんを招いての、冬休み特別企画でした。誰でも参加できる午前中の講演会には、およそ70人(避難当事者約60人(子ども15人含む)、支援者約10人)が集まりました。

野呂さんは、1992年からチェルノブイリ事故による、2011年以後は、福島原発事故による保養受け入れに取り組んでいます。保養は心身のリハビリ。とにかく楽しむ、体を動かすこと、そして芸術が大切だと話しました。創造性が高まる芸術は、脳を活性化し、健康に導くということです。長年の保養活動を通して見つめてきた、ベラルーシの子ども達の現在の健康状況は深刻で、子ども達を守れなかったと、大人たちは後悔しているそうです。「避難は大切。でも、事故から逃げてはいけない。現実を受け止め、記録に残しておくことが大事」と話しました。

★「チェルノブイリへのかけはし」報告書を当センターでお渡しできます。(先着6人。担当・赤星までお声がけ下さい)

ご招待 へのお申込みは...



大阪市ボランティア・市民活動センター (担当：赤星)
(電話・メールにて。全員の名前・住所・TELを添えて)

どしどし応募してね!



つながり 東日本大震災6周年企画@梅田 3.11 避難者を囲んでフリートーク

避難者も支援者も、誰でも自由に参加する場。あの日のこと、避難のこと、3.11からこの6年間の暮らし、思いを、ざっくばらんに話してください。
会場の見守りサポートボランティアも同時募集しています。



日時：3月9日(木)、10日(金)、13日(月)
いずれも13:00～15:00
(イベント会場は18:00まで開場)
※ 詳細はチラシをご覧ください。
場所：阪急梅田三番街地下1階 (三井住友銀行奥)
(JR「大阪」駅より 徒歩 7分、阪急「梅田」駅より 徒歩 3分)
参加費：無料
定員：15人(申込者優先)
問合せ：東日本震災避難者の会 Thanks&Dream
✉ sandori2014@gmail.com

ご招待 ピアトリクス・ポター™生誕150周年 ピーターラビット™展

幼少期から動物や植物のスケッチが大好きだったピアトリクス。彼女の自然への深い愛情とまなざしはピーターラビットシリーズの世界観に色濃く反映されています。
本展は、貴重な絵本の自筆原画やスケッチ、愛用品など、そのほとんどが日本初公開となる国内最大規模の展覧会です。

はじめまして。



会期：2月11日(土)～4月2日(日)
10:00～18:00 (最終入館は17:30まで)
休館日：2月19日(日)
場所：グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
※ 1階カフェラボ横にある専用入り口をご利用ください。
(JR「大阪」駅 2階中央北口または阪急「梅田」駅 2階中央改札口より 徒歩 3分)
ご招待：3組6人(抽選)
締切：3月6日(月) 正午
※ 当選の場合は、3月8日頃に、チケットを発送します。

